

決して其勢弱等安くないと信ずるのである、住居問題等に於いては之を彼等の要求通り建設するにせよ、百萬人以上を要するの現況の豫算では進も實現し得ない、又時間問題に就ても他工場との關係に對して製鐵所のみで決行する譯には行かぬ、併し今後の加き増しに際し再發に對する豫防としては努めて上下の意思疏通を圖りたいと思ふのみで未だ具體的方策は考へて居ない云々又最後に同長官は附言して今度の事件に對し製鐵所は決して職工に對する態度を改めないと言つた

平爐の破損程度

製作品の損害

不良職夫人夫に入場阻止

製鐵所にては九日朝職工以外職夫太師其他が先願となりて構内に入り込み職工を扇動して事態を重大ならしめたる形跡あるに鑑み



不逞鮮人使賊の風説から人騒がせ

警察署で取調べの結果

八幡市の鮮人千五百餘名... 警察署で取調べの結果... 八幡市の鮮人千五百餘名... 警察署で取調べの結果... 八幡市の鮮人千五百餘名... 警察署で取調べの結果...

漸く常態に復した八幡製鐵所

(上) 林立の櫻笑園を社
(下) 人夫の集まり

職工一般に自分の

め来

三油... 職工... 警察署... 八幡市... 鮮人... 千五百餘名... 警察署で取調べの結果... 八幡市の鮮人千五百餘名... 警察署で取調べの結果... 八幡市の鮮人千五百餘名... 警察署で取調べの結果...